

学校教育目標	人とのかかわりを大切にしながら、自分で考えて行動し、心身ともにたくましい子を育てます ○自分のよさや課題を理解し自らを伸ばしながら、みんなで課題を解決していく子を育てます。(知) ○自分を律し場をわきまえた言動をしたり、相手の思いを受け止め優しい心で接したりできる子を育てます。(徳) ○健康でたくましい心と体をつくり、命を大切にすることを育てます。(体) ○永田のまちを愛し、地域や社会のために他者と協働する子を育てます。(公) ○自分や、周りの人・もの・ことのかかわりを大切にできる子を育てます。(開)				
	創立 58 周年 児童生徒数: 555 人	学校長 足立 渉	副校長 落合 史男	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 5
学校概要	主な関係校: 永田中学校 永田台小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	永田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語能力 自分づくりに関する力	永田中学校 永田小学校 永田台小学校	あいさつを通して永田のまちのつながりを意識する子 自分も友達も大切にする子 進んで学習に取り組む子 ----- ・職員からの積極的な挨拶運動 ・児童会、生徒会を中心に、つながりある挨拶運動 ・ブロック内での頻繁な情報交換、情報共有、継続した温かい指導・見守り ・人権教育の推進、3校児童生徒間交流の継続 ・小中授業交流会を通して、ブロックの授業力向上

中期取組目標	○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、主体的に対話的な学びを充実させます。 ・1年目は特に学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの学習意識を高めます。 ・2年目は子どもが主体的に学び、言葉を大切にしながら、自分の想いを正確に伝える力を育てます。 ・3年目は主体的に学ぶ中で、自分の考え、思いを伝え合い、考えを深めることができるようになります。 ○まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・3年間を通して、まちとのつながりを大切にしたい学びを増やし、一人ひとりが自己有用感をもち、「永田のまちの子」であることを誇りに思いながら楽しく学校生活を送れるようになります。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 学習指導 担当 確かな学力部会	①子どもの興味関心に寄り添いながら育成を目指す資質・能力を明確にした単元を構想し、学ぶ楽しさを実感できる授業をする。②学習計画を立て、子どもが見通しをもてる授業にする。本時のめあての確認と振り返りの時間を取り入れ、主体的に学習を進められるようにする。
徳 人権教育 担当 豊かな心部会	①挨拶する意味や大切さ、方法を道徳の時間や学活、児童会活動を中心に全校で考え実践することで、気持ちをつなげるよさを実感できるようにする。②人権教育実践推進校として連携しながら、学校教育全体で道徳教育を充実させ、個々を認め合える学校づくりをする。
体 健康教育 担当 健やかな体・安全部会	①誰もが運動する楽しさを実感できるよう体育科の研修で授業改善を図るとともに、休み時間の外遊びを推奨したり運動集会を定期的に設けたりする。②養護教諭による命の授業、栄養職員と連携した食育授業を全学級で行い、保護者との連携を大切に健康教育の充実を図る。
公 開 地域学校 協働活動 担当 教務	①運営協議会を立ち上げ、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という目標を地域と共有し、連携、協働した教育活動を実践する。②職員や子ども、地域、保護者の思いも取り入れた令和の新しい学校教育目標を設定する。③永田小通信の配信や学校HPの充実を通して、本校の活動を広く共有できるようにする。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①潜んでいるいじめを積極的に認知し、児童の心情に寄り添う。②月末にいじめ防止対策委員会を開き、共有と認知事案の経過確認を行い再発防止に努める。緊急時は、即時会を開き対応。③年3回の研修を実施し、いじめに対するアンテナを高くする。年3回の児童アンケートで些細な変化を見逃さない体制をつくる。
人材育成・ 組織運営(働き方) 担当 メンターT、教務	①メンターチームを組織し、月1回の活動を継続して行う。②ICTを活用した事務の効率化やペーパーレス化を図るとともに、衛生委員会で広く意見を集約し、全職員の組織的な働き方改革につなげる。③定期的に主幹会を設け、ミドルリーダーが学校運営に参画する場を多くする。
授業改善 担当 推進委員会	①国語科重点研究を通して、相手や目的を意識して言葉を選択しながら人と豊かに関わる力を育成する。②国語科、専科の研究授業等を全員で取り組み、自身の授業改善につなげる。③講師からの指導助言を次の研究授業につなげることで、全体の授業力向上を図ると共に、他教科でも資質・能力ベースの授業実践をする。
児童生徒指導 担当	①SCやSSW、他機関との連携を強化し、児童や保護者の困り感に寄り添う児童指導をする。②担任、専任、専科が連携し合い、情報を素早くキャッチすると共に、管理職や全体での情報共有を迅速に行い、チームとして児童指導にあたるようにする。③スタンダードを共通理解し、ぶれない指導をする。
安全教育 担当 安全部	①避難訓練や防犯訓練を月に1度行う。また、学級での日々の指導で子どもの安全意識を高める。②警察、消防署と連携し、事故を防ぐ生活の仕方や災害時の動き方を子どもが身につけられるようにする。③マニュアルを基に緊急時の対応を職員全員で共有し、いざという時に備える。
担当	